

次回 第 74 回 駅から散歩ご案内

記

1. 開催日&集合場所： 平成 30 年 11 月 24 日（土） JR 相模線：下溝駅改札口：集合 10：00
2. 解散場所 & 時刻： 解散場所：海老名駅（解散 11：50 予定）
3. オプション： 海老名駅近郊にて昼食会（希望者のみ）
4. 担当幹事： 鈴木隆雄 [TEL:080-6526-1941](tel:080-6526-1941) 井上 茂 [TEL:090-3436-7391](tel:090-3436-7391)
5. 主な散策コース

下溝駅 ⇒ 新磯ざる菊会場 ⇒ 旧中村家住宅 ⇒ 勝源寺 ⇒ 勝坂遺跡公園 ⇒ 相武台下(電車で) ⇒ 海老名駅

◇新磯ざる菊会場

・・・当日開催状況確認（見頃は 10 月下旬から 11 月中旬）



農林水産省・国土交通省が提唱し、全国花のまちづくりコンクール推進協議会が主催相模原市みどりの協会の推薦を受け応募。

全国より 2,000 を越す応募の中から奨励賞は“新磯ざる菊愛好会”を含む 10 団体が受賞しました。

◇旧中村家住宅



大正 15 年に大山柏が勝坂式土器をはじめて発掘した時、調査地点の畑を提供し、調査に多大な協力を惜しまなかった地元名主中村さんの住宅は、幕末期の和洋折衷住宅で、国登録有形文化財となっています。勝坂遺跡と学史的にも関連の深い旧中村家住宅を史跡勝坂遺跡公園と一体的に整備し、こちらも公開されています(月～水は休館)。

◇勝源寺



金澤山と号す。曹洞宗愛甲郡小野村・龍鳳寺の末寺。本尊 千手観音。開山 笑山充閻大和尚（寛永 5 年 2 月 7 日卒）開基は村民なり、伊右衛門と称す（寛永 10 年 10 月 18 日亡）とあり（『新編相模原風土記稿』巻 66）開山以来、30 代を経て現在に至っている。又、堂内には鎮守尊として青面金剛王をまつり、災障消除、福寿無量を祈念致しています。

◇史跡勝坂遺跡公園



縄文時代中期（約 5000 年前）の大集落跡です。大正 15（1926）年、考古学者大山柏氏による発掘調査で発見された縄文土器は、立体的な装飾の文様や顔面把手（がんめんとって）（顔を表現した取っ手）などによって注目をあび、後に「勝坂式土器」として縄文時代中期のめやすとされました。

以上